

令和6年度の重点課題

○男女ともに「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」の数値が、県平均値かつ全国平均値を下回っている。男子については、上記に加え、「握力」「長座体前屈」「50m走」「ボール投げ」の数値も県平均値かつ全国平均値を下回っている。

○「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」というアンケート項目において、否定的な回答をした男子児童の割合が8.34%、女子児童の割合が15.0%だった。

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

○準備運動の時間を活用して、柔軟性を高めたり、鉄棒やうんていなどの器具を使ったサーキットトレーニングを取り入れ、握力を高めたりした。

○体を動かす楽しさを実感させるために、大休憩などで、児童会や委員会を中心とした運動遊びを実施した。

○柔軟性を高めるために、家庭でも、がんばりカードを使ってストレッチ運動等に取り組むことができるようにした。

○「握力」チャレンジコーナーを委員会が中心となって設置した。休憩時間に友達と握力を競い合うなど、児童が目標を立てて記録の向上に取り組めるようにした。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.17	25.83	32.74	45.09	58.91	9.01	159.35	21.39	57.48	第5学年	16.65	19.83	35.70	37.39	34.50	9.47	143.17	11.65	53.32

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.17	25.83	32.74	45.09	58.91	9.01	159.35	21.39	57.48	第5学年	16.65	19.83	35.70	37.39	34.50	9.47	143.17	11.65	53.32

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	82.61	8.70	4.35	4.35	第5学年	39.13	43.48	13.04	4.35

学校独自の意識調査

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・体育での準備運動場面での柔軟運動や、うんていなどの器具を使ったサーキットトレーニングを引き続き取り入れる。
- ・学習の中で、自己選択の場や目標を設定し、自分で決定し取り組む活動を展開することで、主体的に運動に取り組める環境を整える。

体育の授業以外で行う取組内容

- 体を動かす楽しさを実感させるために、児童会や委員会を中心とした運動遊びを継続的に実施する。
- 児童会や委員会で、柔軟性を高める活動や、ドッジボールなどの投力が必要な活動を異学年間で行うことで、運動を楽しむ機会を作るとともに、運動に親しみきっかけ作りを行う。

重点課題

情意面での課題

〈課題〉男子・女子共に「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目において、「やや嫌い」「嫌い」と回答する男子児童の割合が8.70%（昨年度8.4%）、女子児童の割合が17.39%（昨年度15.0%）と昨年度と比べて増加した。
 〈要因〉否定的な回答をした児童が「自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか」の項目においても否定的な回答をしており、運動することの意欲の意欲が低いと考えられる。

体力面での課題

〈課題〉男子・女子共に「長座体前屈」「ボール投げ」の2項目が県平均かつ全国平均値を下回っている。さらに女子は「反復横跳び」「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」の3項目が県平均かつ全国平均値を下回っている。
 〈要因〉体育の授業等で「柔軟性を高める動き」、「投力を高める動き」を取り入れた運動が十分にできていない。

令和8年度の重点目標値

- 「運動やスポーツをすることは好きですか」のアンケート項目において、否定的回答をする児童を7%以下にする。
- 「長座体前屈」「ボール投げ」の項目において、男女ともに県平均かつ全国平均値を上回る。